

和歌山県立近代美術館

年 報

昭和46年度

和歌山県立近代美術館

年 報

昭和46年度



昭和47年4月

序

本館は、昭和45年11月2日現在地に新築された県民文化会館と併設され、近代美術館として発足することになりました。昭和38年3月、和歌山城内に和歌山県立美術館（現在、県立博物館）として開設以来、昭和46年3月までの8年間、いわば本館の前史ともいふべき部分は、すでに昨年「和歌山県立美術館の歩み」として刊行されました。

このたび、近代美術館に移行を機会に、毎年館報を発刊し、各年度の活動状況をまとめ、こんごの発展を期したいと存じます。

昭和47年4月

和歌山県立近代美術館長

渡 辺 光 男

目次

1. 近代美術館の概要	1
2. 沿革	3
3. 主要行事一覧表	4
4. 当館主催展覧会	6
竹久夢二展	
紀州の風景画展	
第9回和歌山県美術家協会展	
第6回近代美術館友の会展	
第4回和歌山県勤労者美術展	
第25回和歌山県美術展	
常設展「浜口陽三版画展」	
第5回近代美術館友の会習作展	
原勝四郎展	
5. 当館主催展覧会（主たるもの）目録	11
6. 貸館展覧会	27
7. 近代美術館友の会活動	41
美術鑑賞講座、日本画実技講座	
洋画実技講座、写真実技講座	
陶芸実技講座	
8. 美術館だより	45
9. 本年度購入、寄贈等作品	46
10. 近代美術館関係諸団体等	47

1 近代美術館の概要

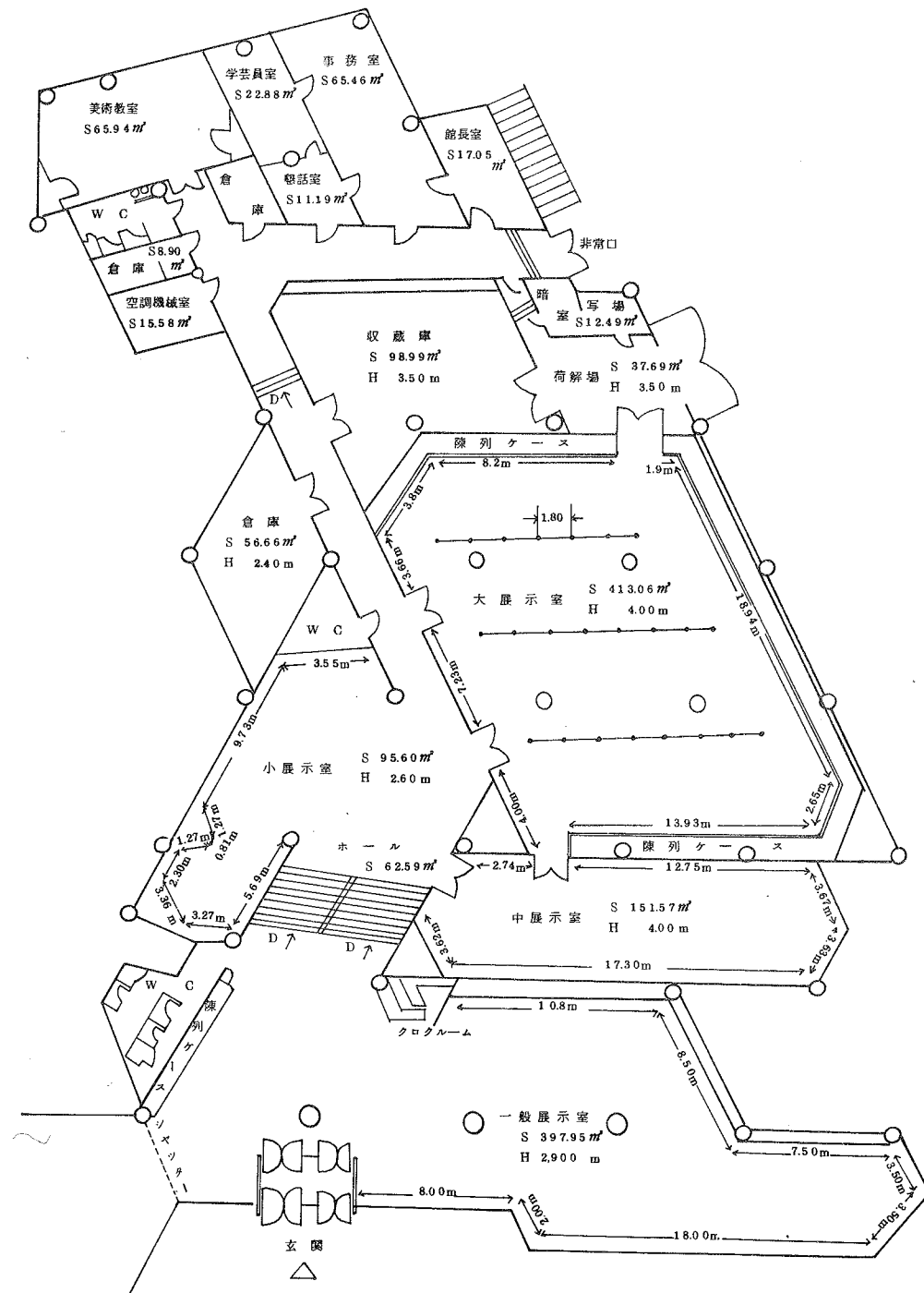
昭和38年3月17日、和歌山城公園二の丸跡（県立図書館前）に県立美術館が開館され、以来8年間、美術館活動を行ってきた。

昭和45年、県民文化会館の建設を契機に、県立美術館の機能を分離し、主として明治以降の美術を近代美術館で、江戸時期以前を博物館で扱うこととされ、昭和45年11月2日、近代美術館は、県民文化会館の1階に併設して開館した。

設備概要	新館（県立近代美術館）	旧館（県立美術館）
敷地	1,739.6 m ²	990 m ²
建築延面積	1,739.6 m ²	1,187 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り 地上2 地下1
付帯設備	冷暖房換気設備、空気調和	冷暖房換気設備
展示室	1,058.18 m ²	825 m ²
	一般 397.95 m ²	地階中展 191 m ²
	中展 151.57 m ²	1階中展 196 m ²
	小展 95.60 m ²	〃 小展 48 m ²
	大展 413.06 m ²	2階大展 390 m ²
収蔵庫	98.99 m ²	96 m ²
美術教室	65.94 m ²	—
館長室	17.05 m ²	22 m ²
事務室	65.46 m ²	27 m ²
学芸員室	22.88 m ²	—
懇話室	11.19 m ²	—
	便所、廊下等 399.91 m ²	

上記のとおり展示室だけでも約1.3倍、建築延面積にいたっては約1.5倍に拡張された。
配置図については次のとおりである。

<近代美術館配置図>



2 沿革

- 昭和28年 「第1回和歌山県美術展覧会」開催以来「和歌山に美術館を」という願いが高まっていたが、この年、和歌山大学々長岩崎真澄氏および美術関係者を中心とする美術館建設運動がおこる。
県下主要美術家の絵をアメリカに紹介して基金20万円つくる。
- 昭和34年 県美術家協会が知事に陳情し展示施設建設の内諾を得る。
- 昭和36年 夏、昭和37年度に予算措置を行ない、事務は企画部総合調整課が担当と決定。
秋、和歌山県立美術館建設委員会が組織される。
県側 10人 県美術家協会側 10人
敷地を和歌山城内県立図書館前に決定。
敷地 約990㎡(約300坪)
建築面積 約394㎡(約119坪)
- 昭和36年11月 起工式挙行
- 昭和37年 7月 館落成、開館
- 昭和38年 3月 専任館長をおく。
- 昭和40年 4月 和歌山県立美術館運営指針を制定
- 昭和42年 収蔵庫完成
- 昭和42年11月 新館完成、開館準備のため移転
- 昭和45年10月16日 和歌山県立美術館を廃館し、和歌山県立近代美術館が開館
- 昭和45年11月 2日

余311立

3 主要行事一覧表

昭和46年	4月17日	5月6日まで。本館主催竹久夢二展
	5月29日	県美術家協会運営委員会
	5月30日	県美術館友の会理事会および評議員会
	6月3日	6月14日まで。県美術家協会、県立近代美術館共催第9回美協展を二期にわたり開催
	6月19日	第9回美協展反省会
	6月26日	県美術館友の会主催による高松、倉敷、岡山の美術散策と備前窯元見学のバスツアー。(1泊2日)
	7月20日	第25回県展主催者会議
	8月5日	8月9日まで。県立近代美術館友の会展
	8月17日	第25回県展運営委員会開催
	8月25日	本館主催紀州の風景画展(黒潮国体夏季大会協賛)を9月8日まで開催
	9月23日	県立近代美術館協議会
	10月13日	第25回県展作品審査会
	10月20日	11月8日まで。第25回県展特別展(黒潮国体芸術展参加)を三期にわけて開催
	10月31日	県立近代美術館友の会主催によるボルドー名作展、藤田美術館20周年展鑑賞バスツアー。
	12月4日	12月6日まで第25回県展新宮地方展を新宮市々民会館において開催
	12月11日	第25回県展反省会
	12月19日	県立近代美術館友の会忘年福引パーティー
昭和47年	1月8日	2月28日まで本館常設企画展「浜口陽三版画展」
	1月30日	県美術家協会理事会
	2月2日	県立近代美術館協議会小委員会
	2月6日	美術館友の会バスツアー。京都市立美術館で開催中のゴヤ展を鑑賞。
	2月13日	美術館友の会理事、評議員会

2月23日

27日まで。美術館友の会習作展

3月4日

3月23日まで。「原勝四郎展」を開催

4 当館主催展覧会

○ 竹久夢二展 (有料)

4/17 ~ 5/6

明治末期から昭和初期にかけて、独自の抒情画の世界を切り拓き、時代の寵児となった竹久夢二の芸術を紹介するものであった。長崎12景、女10題等の代表作を有する河村幸次郎のコレクションを中心に、夢二記念館の協力を得て、日本画、油絵、水彩、デッサン、版画等100余点に、画集、詩集、カレンダー等複製、出版物などの資料を多数展観し、その多採な活躍を浮彫りにした。

参観者

一般観覧者	3,631名	} 計 4,195名
招待者	564名	

○ 紀州の風景画展 (有料)

黒潮国体夏季大会協賛

この年本県で開かれた黒潮国体に因んだ展覧会である。古くから聖地と名勝をもって知られる紀州の風物は、しばしば画題として、絵画等に登場するところであるが、本展覧会では、近代の画家によって描かれた風景画を中心に、写生的態度によって描かれた近世画家の作品を加え、36作家、50余点の作品を展観した。

参観者

一般観覧者	1,720名	} 2,199名
招待者	479名	

黒潮国体夏季大会開会式にご臨席の皇太子殿下、同妃殿下がご観覧された。

○ 第9回和歌山県美術家協会展

6/3 ~ 6/7 (第1期)

生花、日本画、工芸、書

6/10 ~ 6/14 (第2期)

写真、洋画、現代造形、彫塑

県美術家協会会員の出品による展覧会である。

○ 第6回近代美術館友の会展

8/5 ~ 8/9

美術館友の会々員が、各講座で実習し、制作された作品を中心として出品したものである。

〔洋画〕 61人 ~ 91点

〔日本画〕 20人 ~ 34点

〔写真〕 8人 ~ 15点

〔工芸〕 39人 ~ 70点

〔書〕 3人 ~ 3点

〔生花〕 1人 ~ 1点

計 132人 ~ 214点

参観者 約 700名

○ 第4回和歌山県勤労者美術展

9/15 ~ 9/19

和歌山県内に職場または住所を有する勤労者(雇用勤労者で職業専門家を除く)が勤労の余暇に創作した作品を展示したものである。

洋画 110 点、日本画 16 点、書 11 点、写真 110 点、彫塑 10 点、工芸 19 点

生花 27 点、 総計 303 点

参観者 約 3,000 人

○ 第 25 回和歌山県美術展

(第 26 回国民体育大会芸術展参加)

第 26 回国民体育大会芸術展参加ならびに第 4 回和歌山県民文化祭参加事業として和歌山県民の美術に関する愛好心と鑑賞力を高め本県美術文化の向上発展に資するため開催する。

第 1 期 10/20～10/25

日本画、書、生花

第 2 期 10/27～11/1

洋画、彫塑

第 3 期 11/3～11/8

工芸、写真、現代造形

新宮地方展 12/4～12/6

各部門選抜(生花を除く)

日本画 47 点 (応募入選 29 点、審査員、招待、無鑑査 18 点)

書 172 点 (応募入選 128 点、審査員、招待、無鑑査 44 点)

生花 38 点 (応募入選 20 点、審査員、招待、無鑑査 18 点)

洋画 220 点 (応募入選 152 点、審査員、招待、無鑑査 68 点)

彫塑 41 点 (応募入選 32 点、審査員、招待 9 点)

工芸 56 点 (応募入選 44 点、審査員、招待、無鑑査 12 点)

写真 157 点 (応募入選 136 点、審査員、招待、無鑑賞 21 点)

現代造形 54 点 (応募入選 48 点、審査員、無鑑査 6 点)

各部門とも例年より応募者が増加し、遂に応募点数 1,000 点を突破する盛況であった。

10 月 29 日国体秋期大会閉会式にご臨席の陸常宮殿下、同妃殿下ご観覧されました。

参観者 約 15,000 人程度

○ 館主催常設展 (浜口陽三版画展)

1/8～2/28

館蔵品を中心として、借用作品を加えた小規模の展観であるが、1956 年頃のメゾチントの作品から、近作リトグラフに至るまで、ある程度浜口陽三の画業の輪廓が浮かび上るよう配慮した。

参観者 4,621人

○ 第5回近代美術館友の会習作展

2/23 ~ 2/28

美術館友の会々員約800名が毎月1回各部門で習った作品を展覧したものである。

〔洋画〕 39人 ~ 87点

〔日本画〕 17人 ~ 35点

〔写真〕 12人 ~ 33点

〔陶芸〕 26人 ~ 47点

計 94人 ~ 202点

参観者 700名

○ 原勝四郎展 (有料)

3/4 ~ 3/23

原勝四郎は、青年期の東京、欧州遊学の後、郷里に隠棲したまま、孤高の姿勢を保ち画業に専念した。その芸術は、一部有識者の間に高く評価されたが、比較的世に知られるところが少なかった。本展覧会は、原勝四郎の人と芸術の全貌をできる限り明らかにし、彼の画業に対する正当な評価の前提を提供しようというのが趣旨であった。

参観者

一般観覧者 2,182名
招待者 391名 } 計 2,573名

5 当館主催展覧会 (主たるもの) 目録

○ 竹久夢二展

4月17日~5月6日

№	作 品 名	制作年代	規 格
1	春の野	明治44年頃	絹本尺8巾
2	ぬれつばめ	大正 元年頃	紙本小品
3	桑畑	" "	唐紙尺2巾
4	待宵	" "	紙本半折
5	青い衣物の女	" 2年頃	唐紙半折
6	郷愁	" "	唐紙8寸巾
7	鴨東舞妓	" 3年頃	紙本半折
8	阿蘭陀屋敷春宵	" "	紙本8寸巾
9	切支丹波天連渡来之図	" 3年作	絹本尺5巾
10	室之津懷古	" 5年頃	"
11	爪切り	" 8年頃	絹本尺2巾
12	春遠からじ	" 9年頃	"
13	扇を持つ舞妓	" 10年頃	絹本尺5巾
14	春娘図	" 15年頃	"
15	夕粧 (野口雨情歌賛)	昭和 2年頃	紙本半折
16	はつ夏	" 3年頃	絹本尺2巾
17	南枝早春	" 3年作	紙本半折
18	鞍馬風 (吉井勇歌賛)	" 3年頃	"
19	秘薬紫雪	" "	絹本尺2巾
20	歌留多	" "	紙本尺2巾
21	紅衣扇舞	" 4年頃	紙本半折
22	榛名湖	" "	紙本二尺横
23	鳥海山暮雪	" "	紙本小品
24	流水	" "	紙本半折
25	錦秋	" "	"
26	春を舞う	" "	紙本尺二巾

№	作 品 名	制作年代	規 格
27	雪に埋る	昭和 5年頃	紙 本 半 折
28	庭 石 (七夕)	" 6年作	絹 本 尺 二 巾
29	二 人 舞 妓	" "	紙 本 半 折
30	立 田 姫	" "	紙 本 尺 二 巾
31	宝 舟 (木版)	" 4年作	紙 本 小 品
32	南蛮渡来(木版)	" 5年頃	"
33	榛名山賦	" 6年作	二 曲 屏 風
34	旅	" 6年作	"
35	雪 野	明治44年頃	水 彩 小 品
36	カフェーの女(未完成)	大正 4年頃	油 絵 15号
37	山 の 娘 (未完成)	" 5年頃	"
38	初 夏 (点描)	昭和 6年頃	油 絵 8 号
39	青 春 譜	" 5年作	油彩変形10号
40	黄 八 丈	" 6年作	" 25号
41	さらばアメリカ(模写)	" 7年作	" 8号
42	被 布 の 女	大正 3年頃	水 彩 15号
43	椅 子 の 女	" 7年頃	パステル小品
44	初 春		水 彩 小 品
45	か る た		"
46	洗 髪		"
47	ピ ア ノ		ペ ン 画 小 品
48	断 髪 の 女		水 彩 小 品
49	浅草風景 1	昭和 5年頃	"
50	" 2		"
51	" 3		"
52	" 4		"
53	長崎12景 青い酒	大正 9年作	水 彩 約 6 号
	" サボテンの花	"	"
	" ネクタイ	"	"
	" 化粧台	"	"

№	作 品 名	制作年代	規 格
	長崎12景 十字架	大正 9年作	水 彩 約 6 号
	" 丘の青楼	"	" "
	" 出 島	"	" "
	" 眼 鏡 橋	"	" "
	" 風 揚 げ	"	" "
	" 阿 片 窟	"	" "
	" 灯 籠 流 し	"	" "
	" 天 主 堂	"	" "
54	女 十 題 舞 姫	大正10年作	" "
	" 産 衣	"	" "
	" 朝 の 光 へ	"	" "
	" 三 味 線 堀	"	" "
	" 黒 猫	"	" "
	" 木 場 の 娘	"	" "
	" ネルの感触	"	" "
	" 逢 状	"	" "
	" 北 方 の 冬	"	" "
	" 紅 梅	"	" "
	娘	昭和 5年頃	水 彩 約 4 号
	不壊の白珠		水 彩 小 品
	舞 鶴 小 唄		" "
	京 の 舞 妓		" "
	信 濃 の 雪		" "
	十和田湖の女		" "
	浅草十二階		" "
	冬 の 広 場		" "
	京 の 別 荘		" "
	土 佐 太 夫		" "

No.	作 品 名	制作年代	規 格
	三 味 線 月		水 彩 小 品
	唐 人 お 吉		" "
	白 久 温 泉		" "
	戸 倉 温 泉		" "
	札 所 巡 り		" "
	浅草五区 (東京震災)		ペン画着彩小品
	馬 車 (")		" "
	駅		墨 絵 小 品
	泣 く 妻		" "
	わ く ら 葉		ペ ン 画 小 品
	メ リ ー さ ん		" "
	花 東		" "
	停 車 場		" "
	教 会		" "
	芽 生		" "
	めぐりあい		" "
	姉 妹		" "
	朝鮮だより		" "
	母 娘 (影 絵)		" "
	娘 の 顔		鉛 筆 画 小 品
	カレンダー図案 (水彩)		
	楽譜表紙 (墨絵及び淡彩)		
	スケッチブック (鉛筆)		
	手 紙		
	切 抜 帖		
	セノオ楽譜 (石版)		

No.	作 品 名	制作年代	規 格
	中山晋平楽譜 (木版)		
	木 版 画		
	夢二千代紙		
	夢二便箋・封筒		
	写真 (夢二アトリエ他)		
	夢 二 著 書		
	夢二碑拓本		

○ 紀州風景画展

(黒潮国体夏季大会協賛)

8/25 ~ 9/8

№	画種	作品名	制作者
1	日本画	那智滝	麻田鷹司
2	"	高野山縁起	門脇俊一
3	"	筏流し	川端竜子
4	"	紀州風景	小出檜重
5	"	和歌浦	下村観山
6	"	明光古座両浦真景図(双幅)	谷文晁
7	"	和歌浦之図	富岡鉄斎
8	"	那智山	富田溪仙
9	"	那智滝/初夏峰巒図	日高昌克
10	"	田鶴の梅林	曲子光男
11	"	新和歌浦	三輪晁勢
12	"	那智奉拝	矢野橋村
13	"	三熊野の那智のお山	山口蓬春
14	"	時雨きたる瀨峡	山元春挙
15	"	加太の浦	岩瀬広隆
16	"	那瀑橋巖図/和歌浦全景図	桑山玉州
17	"	那智三瀑図/和歌浦図	野呂介石
18	洋画	円月島/中之島遠望	伊藤継郎
19	"	滞船	石井柏亭
20	"	和歌浦風景	大久保作次郎
21	"	瀨峡、潮岬/雑賀崎	川口軌外
22	"	麗日	国枝金三
23	"	紀の松島	黒田重太郎

№	画種	作品名	制作者
24	洋画	白浜	小出檜重
25	"	白崎海岸/竜神/紀州太地潮岬/潮岬	小林和作
26	"	勝浦風景	中川一政
27	"	白浜	中沢弘光
28	"	紀の松島/紀の松島	中村善策
29	"	立岩の海岸/梶取岬の朝風 熊野灘/新和歌浦/忘帰洞	鍋井克之
30	"	新宮風景	西村伊作
31	"	潮岬の夕照	裕伊之助
32	"	風莫港/番所鼻/潮戸風景	原勝四郎
33	"	暁の海/潮岬/潮岬の灯台	藤島武二
34	"	太地風景	古家新
35	"	熊野風景/竜門村	保田竜門
36	"	名草山	吉田博

当館所蔵品を中心にした常設企画展

○ 浜口陽三版画展

1/8~2/28

№	作 品 名	技 法	制作年代	規 格
1	貝	メゾチント(銅版)	1961	9.7× 7.7
2	テ ン ト ウ 虫	"	1963	5.6× 5.8
3	カ レ イ と ブ ド ウ	"	1957	29.3× 39.0
4	黒 い サ ク ラ ン ボ	"	1958	19.6× 24.5
5	ざ く ろ	"	1960	29.2× 44.0
6	ひ と で	"	1961	9.6× 7.8
7	て ん と う 虫	"		4.5× 4.5
8	ブ ド ウ と 洋 梨	"		23.2× 54.0
9	貝 か ら	"		29.0× 44.0
10	ブ ド ウ	"		29.0× 34.0
11	ア ス パ ラ ガ ス	"		40.5× 28.0
12	コ ッ プ	"		29.2× 39.4
13	19と1つのサクランボ	"	1965	23.2× 53.5
14	毛糸とトリコット	"	1965	24.3× 51.9
15	ブ ド ウ	"		34.5× 29.5
16	ブドウとレモンとコップ	"		29.4× 34.4
17	花 と 蝶	"	1969	11.4× 11.4
18	ブ ド ウ と 幹	"		10.5× 10.5
19	17のサクランボ	"		24.5× 51.3
20	赤 い 月 と 波 止 場	"		28.0× 28.0
21	14のサクランボ	"		52.0× 24.2
22	赤 い 月 と 蝶	"		19.7× 19.4
23	ブ ド ウ の ふ さ	"		52.2× 24.2

№	作 品 名	技 法	制作年代	規 格
24	赤い鉢とサクランボ	メゾチント(銅版)	1968	47.0× 62.0
25	赤 と パ イ プ	リトグラフ(石版)	1971	60.5× 46.0
26	26のサクランボ	"	1971	60.5× 46.0
27	びんとサクランボ	"	1971	45.5× 61.0
28	テーブル掛とサクランボ	"	1971	60.5× 46.0
29	く る み	"	1971	60.5× 46.0
30	赤 い 鉢	"	1971	45.5× 61.0

○ 原 勝四郎展

3 / 4 ~ 3 / 28

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
1	裸 婦	油彩キャンバス	41.0×32.0		大正10年
2	静 物	"	31.5×45.0		"
3	女 の 顔	"	21.0×17.0		"
4	エ チ ュ ード	"	20.5×17.9		"
5	淡 雪	油彩ボール紙	24.0×33.0		昭和 2年
6	高 尾 山	油 彩 板	23.4×33.0		昭和 3年
7	高 尾 山	油彩ボール紙	52.4×64.0		"
8	風 景	油 彩 板	23.0×32.5		"
9	天 神 崎	油彩ボール紙	33.0×23.0		"
10	風 景	"	24.0×32.7		昭和初年頃
11	裸 婦	"	37.8×45.6	無 名 社 展	昭和 5年
12	裸 婦	"	37.5×45.5		"
13	風 景	"	24.0×32.3		"
14	母 子 像	"	65.2×53.0	第17回二科展	"
15	裸 婦	"	72.3×60.0		"
16	高 尾 山	"	53.7×65.4	第18回二科展	昭和 6年
17	文 里	"	23.0×32.6		"
18	海 岸 風 景	"	53.2×65.0	第19回二科展	"
19	画 工 像	"	65.0×53.0		昭和 7年
20	婦 人 像	"	65.0×53.0	第20回二科展	昭和 8年
21	風 景	"	24.5×32.3		"
22	風 景	油彩ベニヤ板	53.0×65.0		昭和 9年
23	母 子 像	油彩キャンバス	34.0×46.0		"
24	風 景	油彩ベニヤ板	51.5×63.5		"

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
25	画 工 と 其 婦	油彩ボール紙	82.0×70.0		昭和10年
26	グ ラ ス ボ ー ト	油彩ベニヤ板	31.6×41.0		"
27	瀬 戸 風 景	油彩ボール紙	65.0×53.0		"
28	風 景	"	36.3×43.7		昭和11年
29	自 画 像	"	65.0×53.0	第23回二科展	"
30	海 岸 風 景	"	53.0×64.7	第24回二科展	"
31	白 良 浜	"	38.0×45.5		"
32	三 段 壁	"	36.2×44.0		"
33	少 女 像	"	65.5×53.0	第24回二科展	昭和12年
34	バ ラ	油彩ベニヤ板	11.8× 9.0		"
35	青 シ ャ ツ	油彩ボール紙	70.0×82.0	第25回二科展	昭和13年
36	海 岸 風 景	"	70.0×82.0	"	"
37	風 景	油彩キャンバス	65.1×45.5		"
38	バ ラ	油彩ベニヤ板	11.0× 8.9		"
39	小 湾	油彩ボール紙	70.0×82.0	第27回二科展	昭和15年
40	風 莫 港	油彩ベニヤ板	72.8×90.5	紀元2600年 奉 祝 展	"
41	リ ン ゴ	"	12.3×15.5		"
42	バ ラ	油彩ボール紙	24.2×18.3		"
43	道 化	"	89.0×72.0	第28回二科展	昭和16年
44	綱 不 知	"	61.8×73.6		"
45	番 所 鼻	油彩ベニヤ板	72.2×91.5		"
46	バ ラ	"	33.0×23.8		昭和18年
47	自 画 像	"	33.5×24.2		"
48	裸 婦	油彩ボール紙	53.0×45.5		昭和19年
49	綱 不 知	"	60.5×92.0		昭和20年
50	水 蜜 桃	油彩ベニヤ板	14.8×18.2		昭和21年
51	番 所 鼻	"	37.2×45.2		昭和22年

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
52	風 景	油彩 ベニヤ板	37.5×44.7	第1回県展出品	昭和22年
53	裸 婦	油彩キャンバス	53.0×45.2	二 紀 展	昭和22年頃
54	綱 不 知	油彩 ベニヤ板	17.0×32.7		昭和23年
55	裸 婦	"	43.0×58.5	二 紀 展	昭和24年頃
56	円 月 島	"	45.5×52.5		昭和24年
57	裸 婦	"	45.7×32.7	二 紀 展	昭和25年
58	風 景	"	53.0×65.2	第4回二紀展	"
59	菊	"	27.0×18.0		"
60	菊	"	31.7×45.0		"
61	バ ラ	"	19.0×24.2		"
62	娘 の 像	"	65.0×53.0	第5回二紀展	昭和26年
63	江津良の海	"	51.5×64.0	"	"
64	樹 蔭	"	55.0×68.0	第6回二紀展	昭和27年
65	婦 人 像	油彩 ボール紙	73.0×60.0	第7回二紀展 (同人努力賞)	昭和28年
66	海 辺	油彩 ベニヤ板	41.0×60.4	第7回二紀展	"
67	風 景	"	51.7×63.5	"	昭和28年頃
68	海 辺	"	44.3×52.5	第8回二紀展	昭和29年
69	裸 婦	"	52.3×64.6	二 紀 展	昭和30年頃
70	海 辺	"	51.2×63.2	第9回二紀展	昭和30年
71	静 物	"	21.2×27.2		"
72	桃	"	14.0×17.3		"
73	海	"	15.7×26.5		"
74	ざ く ろ	"	15.3×21.5		"
75	海	"	16.0×27.2		"
76	老 人 像	"	72.4×60.2	第10回二紀展	昭和31年
77	田辺湾遠望	"	52.7×65.2	"	"
78	バ ラ	"	27.0×18.5		"

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
79	風 景	油彩 ベニヤ板	15.0×21.5		昭和31年
80	海 辺	"	51.3×64.0	第11回二紀展	昭和32年
81	風 景	"	53.0×65.0	"	"
82	江 津 良	"	22.2×28.5		"
83	風 景	"	44.4×52.3	第12回二紀展	昭和33年
84	老 人 像	"	53.0×45.5	"	"
85	自 画 像	"	40.8×31.7	粲彩会展	"
86	裸 婦	"	45.5×65.1	二 紀 展	昭和34年頃
87	草 紅 葉	"	43.3×51.0	第13回二紀展	昭和34年
88	裸 婦	油彩キャンバス	51.0×63.0	二 紀 展	昭和35年頃
89	静 物	油彩 ベニヤ板	45.0×52.7		昭和35年
90	風 景	"	45.0×53.3		"
91	静 物	"	21.5×26.0		昭和36年
92	バ ラ	"	40.5×31.5		"
93	裸 婦 習 作	"	45.0×38.2		"
94	静 物	"	21.0×15.0		昭和37年
95	綱 不 知	"	16.0×22.0		
96	椿	"	16.4×12.8		
97	少 女 像	"	22.0×16.2		
98	風 景	"	12.6×16.3		
99	円 月 島	"	10.2×16.3		
100	バ ラ	"	24.5×19.0		
101	白 良 浜	"	18.2×24.2		
102	高 尾 山	"	21.8×27.2		
103	綱 不 知	"	14.1×16.2		
104	風 景	"	14.3×18.3		
105	花	"	16.4×12.5		

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
106	塔 の 島	油彩 ベニヤ板	32.0×41.0		
107	海 辺	"	38.0×45.3		
108	海 辺	"	37.8×45.3		
109	塔 の 島	"	18.5×24.0		
110	風 景	"	18.2×23.8		
111	バ ラ	油彩 ボール紙	33.0×24.0		
112	静 物	"	33.7×24.5		
113	白 浜 雪 景	油彩 ベニヤ板	23.5×33.0		
114	静 物	"	27.2×40.9		
115	バ ラ	"	40.5×31.5		
116	綱 不 知	"	23.5×22.7		
117	裸 婦	"	41.0×31.6		昭和10年
118	裸 婦	油彩キャンバス	45.5×37.7		昭和11年
119	樹 蔭 習 作	油彩 ベニヤ板	37.1×45.0		昭和27年
120	風 景	"	46.2×54.0		
121	海 辺	"	24.0×32.2		昭和27年
122	静 物	"	24.0×33.0		
123	海	"	21.0×32.8		
124	バ ラ	"	24.0×18.3		
125	綱 不 知	"	19.0×27.3		
126	静 物	"	33.0×24.0		
127	バ ラ	"	33.2×24.0		
128	バ ラ	"	27.4×18.7		
129	陽 子 像	油彩 ボール紙	88.2×75.0		
130	休 憩	油彩 ベニヤ板	72.5×91.0		昭和18年
131	自 画 像	"	45.2×37.5		
132	ひ ま わ り	"	53.0×45.2		

№	題 名	材質形状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
133	バ ラ	油彩 ベニヤ板	16.5×12.5		
134	バ ラ	"	23.0×18.0		
135	風 景	"	49.0×59.3	田辺市展出品	
136	風 景	油彩 ボール紙	25.0×34.0		
137	バ ラ	"	22.5×17.0		
138	静 物	"	22.0×28.0		
139	化 粧	"	82.0×70.0		
140	風 景	"	24.0×33.0		
141	風 景	"	24.0×33.0		
142	自 画 像	油彩 ベニヤ板	27.2×21.8		
143	裸 婦	油彩 ボール紙	43.3×36.0		
144	バ ラ	油彩 ベニヤ板	24.2×19.5		
145	裸 婦	"	59.0×39.0	田辺市展出品	
146	風 景	"	21.7×27.0		
147	バ ラ	油彩キャンバス	41.0×31.5		
148	バ ラ	油彩 ベニヤ板	32.0×23.0		
149	風 景	油彩 ボール紙	38.0×45.0		
150	裸 婦	油彩キャンバス	50.0×60.5		
151	婦 人 像	"	45.5×38.0		
152	風 景	油彩 ベニヤ板	45.0×59.0	田辺市展出品	
153	海 辺	"	31.6×41.0		
154	風 景	"	37.2×45.2		
155	裸 婦	"	31.5×46.2		
156	バ ラ	"	32.5×23.7		
157	陽 子 像	油彩 ボール紙	27.0×12.0		
158	風 景	油彩 ベニヤ板	53.0×64.6		
159	白 良 浜	油彩 ボール紙	15.7×22.2		

№	題 名	材 質 形 状	大 き さ	展 覧 会	制 作 年
160	パ ラ	油彩 ベニヤ板	24.0×19.0		
161	パ ラ	"	23.8×18.0		
162	裸 婦	油彩 ボール紙	37.7×45.5		
163	静 物	油彩 ベニヤ板	24.0×33.0		
164	静 物	"	31.7×41.0		
165	自 画 像	"	60.3×50.0		昭和34年
166	海	"	21.5×26.5		
167	自 画 像	"	27.3×21.0		
168	娘 の 像	"	27.3×21.0		
169	綱 不 知	"	21.7×27.0		

・水彩・デッサン

1	風 景	紙 ・ 水 彩	15.2×21.2		大正 3 年
2	人 物	"	15.2×21.2		"
3	風 景	"	15.5×20.5		"
4	花	"	19.5×25.0		大正 4 年
5	風 景	"	16.0×20.8		"
6	裸 婦	紙 ・ 鉛 筆	25.0×32.4		大正10年
7	裸 婦	"	32.6×26.0		"
8	裸 婦	"	25.0×32.5		"
9	裸 婦	"	33.0×25.8		"
10	自 画 像	紙 ・ ペ ン	25.5×18.0		"
11	風 景	紙 ・ 水 彩	28.5×27.6		昭和23年頃
12	自 画 像	ベニヤ板・鉛筆	41.0×32.0		昭和33年頃

6 貸 館 展 覧 会

○ 洋画十二人展

4/1～4/5 於 一般展示室

洋画12人のグループ展

参観者 約1,500人

○ 第6回美術日本刀展

4/2～4/5 於 大展示室

葵刀剣会々員が刀剣、小道具を出陳した展覧会。

参観者 約1,300人

○ 第18回洗心書道展

4/2～4/4 於 小展示室、中展示室

西林凡石氏門下生120人による書道展。

参観者 約500人

○ 第2回和大総合美術展

4/8～4/12 於 一般展示室、中展示室、大展示室

和大生四サークル(華道、書道、絵画、写真)の美術展。

参観者 約500人

○ 第22回和歌山市医師会美術展(杏林展)

4/15～4/19 於 一般展示室

和歌山市に在住する医師とその家族ならびに従業員からなる洋画、日本画、書、陶芸展。

参観者 約700人

○ 第5回和菖会書展

4/29～5/3 於 一般展示室

県立和歌山商業高校書道部の卒業生からなる書道展。

参観者 約700人

○ 第20回和歌山市美術展覧会(市展)

(第1期 5/19~5/23)

洋画、彫塑、写真 於 全館

(第2期 5/26~5/30)

日本画、書、工芸、生花 於 全館

参観者 約7,000人

○ 第4回盆栽展

6/19~6/21 於 一般展示室

和歌山盆栽園芸会ならびに日本盆栽協会和歌山支部共催で行なわれた盆栽展。

参観者 約2,500人

○ 春の学校美術展

6/17~6/21 於 中展示室、大展示室

和歌山市内小中学生の優秀作品展で本館では小学校1年~4年まで図画作品展。

参観者 約2,500人

○ 野鳥愛護ポスター・写真展

6/17~6/21 於 小展示室

県主催による愛鳥週間行事としての小中高校生ならびに一般募集によるポスター、写真展。

参観者 約2,000人

○ オークレイ展

6/24~6/28 於 小展示室

田中善弘氏主催によるオークレイを素材にした絵画、工作展

参観者 約500人

○ 春泥会展

6/24~6/28 於 大展示室

中村貞以氏の主宰する会員で本県人を中心に出品された日本画展。

参観者 約1,000人

○ 和大3年生ぐるうぶ展

6/24~6/28 於 中展示室

和大3年生グループの油絵展。

参観者 約800人

○ 有人クラブ写真展

6/24~6/28 於 一般展示室

駒木根紅花氏を会長とする会員の写真展。

参観者 約1,000人

○ 和歌山市青年美術展

7/1~7/4 於 一般展示室、小展示室、中展示室

和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山市連合青年団共催による写真、手芸、生花、工芸展。

参観者 約900人

○ 和大絵画部2回生展

7/8~7/11 於 中展示室

経済学部、教育学部、2回生有志の具象絵画展。

参観者 約500人

○ 第7回ぐるーぷ「しつ」展

7/8~7/12 於 小展示室

海南市黒江の漆を素材にした絵画、工芸展。

参観者 約600人

○ 第7回 葵フォトぐるうぶ展

7/15~7/22 於 一般展示室

亀忠男氏を会長とする葵会々員の写真展。

参観者 約500人

○ 第3回 絵画サークル樹展

7/15~7/19 於 中展示室

海南市に在住または勤務する勤労青少年有志の絵画展。

参観者 約500人

○ 第3回 三光会日本画展

7/15~7/19 於 大展示室

山東光風氏の主宰する会員約50名の日本画展。

参観者 約500人

○ 第18回 洗心書道会展 (学生の部)

7/24~7/26 於 全館

西林凡石氏の門下生約400名の書道展。

参観者 約800人

○ 第3回 星墨会展

7/31~8/1 於 中展示室

星林高校卒業生の書道グループ展。

参観者 約200人

○ 第36回 エトアール洋画展

7/29~8/2 於 大展示室

エトアール会員一ケ年の洋画油絵発表展。

参観者 約500人

○ 第24回 和歌山県書道協会展

7/29~8/2 於 一般展示室、小展示室

県書道協会々員約90名の書道展。

参観者 約500人

○ 第1回 壺魯会展

8/5~8/9 於 一般展示室

大岡皓涯氏門下生約60名の書道展。

参観者 約400人

○ 野村清六展

8/12~8/16 於 大、中、小展示室

野村清六氏の水墨画を中心に油絵も加えた絵画個展。

参観者 約1,000人

○ 第2回 グループ旺美洋画展

8/12~8/16 於 一般展示室

旺美会グループが余暇を利用して制作した油絵展。

参観者 約900人

○ 和歌山現代美術展

8/19~8/23 於 全館

県美術家協会現代造形部門の会員が中心となり他府県の作家の招待も加えた有料展。

参観者 1,239名

22日は講演「現代美術をめぐる」

講師 国立近代美術館 三木多聞氏

○ 第9回 和歌山文協美術工芸小品展

8/26~8/30 於 一般展示室

和歌山文化協会主催による会員の日本画、洋画、写真、書、工芸展。

参観者 約 1,000 人

○ 第12回 和歌山旺玄会展

9/2~9/6 於 一般展示室

旺玄会和歌山支部会員約20名の洋画油絵展。

参観者 約 1,000 人

○ 第9回 具現展

9/23~9/26 於 大展示室

具現会々員、会友、一般の方々が出品した洋画展。

参観者 約 1,000 人

○ 第20回 県下高校商業美術作品展

9/23~9/26 於 一般展示室、小展示室

商業課程を設置した県下高校12校の生徒の商業美術作品展。

参観者 約 1,200 人

○ 第11回 日本画青樹会展

9/30~10/4 於 一般展示室

県展無鑑査級以上の会員10名で組織された日本画展。

参観者 約 1,000 人

○ 寺中靖直油絵大作展

9/30~10/4 於 大展示室、小展示室

寺中靖直氏の油絵大作(100号~500号)個展。

参観者 約 1,500 人

○ 第3回 北アートグループ合同展

10/1~10/4 於 中展示室

和歌山北高校卒業生で組織された洋画展。

参観者 約 1,000 人

○ 第3回 あくと展

10/7~10/10 於 一般展示室

和歌山市内小中学校美術担当教員で組織された絵画展。

参観者 約 1,000 人

○ 第5回 和歌山グループ新世紀展

10/8~10/11 於 中展示室

和歌山市周辺に居住するグループで組織され洋画、版画展。

参観者 約 1,000 人

○ 第14回 花王展

11/12~11/14 於 大展示室

花王石鹼和歌山工場に勤務する従業員とその家族を含めた絵画、手芸、写真、生花、彫塑、書、俳句展。

参観者 約 1,000 人

○ 第4回 岡本旬史手織展

11/11~11/15 於 小展示室

岡本旬史氏の手織作品展。

参観者 約 1,000 人

○ 第5回 盆栽展

11/13~11/15 於 一般展示室

和歌山盆栽園芸会、日本盆栽協会和歌山支部共催で行なわれた盆栽展。

参観者 約 1,500 人

○ 第9回 垣穂短歌作品展

11/18~11/21 於 中展示室

和大田林教授が主宰する会で会員自作の歌を書作品にした展覧会。

参観者 約 1,500 人

○ 県立ろう学校 < 校舎改築落成
創立50周年 > 記念展

11/17～11/22 於 大展示室

県立ろう学校児童、生徒の美術、書、手芸、被服等の美術展。

参観者 約2,000人

○ 第22回 示現会和歌山支部展

11/19～11/22 於 一般展示室、小展示室

示現会和歌山支部会員の洋画展。

参観者 約1,000人

○ 県下高校教員美術展

11/24～11/29 於 一般展示室

県下高校美術担当教員の制作による絵画展。

参観者 約1,000人

○ 第19回 県下高等学校芸術祭書道展

11/25～11/29 於 大、中、小展示室

県下高等学校22校参加による学生の書道展。

参観者 約1,500人

○ 第1回 俳画展

12/2～12/6 於 一般展示室

和歌山県俳画協会創立記念会員一同の俳画展。

参観者 約1,500人

○ 紀人会 日本画
陶芸 美術展

12/2～12/6 於 小展示室、中展示室

会員15名の作品発表と併わせて社会福祉施設献金のための小品展。

参観者 約1,500人

○ 第3回県下民間美術サークル連合展

12/2～12/6 於 大展示室

県下各地に点在している美術サークルの連合展。

参観者 約800人

○ 紙人形展

12/9～12/13 於 一般展示室

石垣駒子創作の紙人形愛好者からなるグループ展。

参観者 約1,000人

○ 黒潮国体等写真展

12/9～12/13 於 中展示室、小展示室

朝日新聞和歌山支局ならびに県立報課共催による第26回国民体育大会、第9回全国身体障害者スポーツ大会の記録写真展。

参観者 約1,000人

○ 和大絵画部展

12/9～12/13 於 大展示室

和大教育学部の絵画部生の作品展。

参観者 約1,000人

○ 花房英樹油絵展

12/15～12/20 於 小展示室

和歌山能楽協会が推薦し、能を主題にした油絵個展。

参観者 約1,200人

○ マヤ文化探究展

12/15～12/20 於 一般展示室

和歌山県立医大学生4名が7月6日より3ヶ月間中米ガテマラのメキシコ国境線マヤ原住民居住地を探究した記録展。

参観者 約800人

○ 森田郁子母子二人展

1/19～1/24 於 小展示室

森田郁子氏母子による書、日本画の個展。

参観者 約2,500人

○ ユネスコ世界名画展（複製画）

1/20～1/24 於 一般展示室

和歌山ユネスコ協会主催による複製画の世界名画展。

参観者 2,350人

○ 大岡皓崖近作書展

2/2～2/7 於 小展示室

大岡皓涯氏の篆、隸、行草各体にわたる書の個展。

参観者 約500人

○ モデルと発電所の写真展

2/5～2/7 於 一般展示室

フジカラー主催による写真展。

参観者 約250人

○ 和大乞食三人展

2/10～2/13 於 中展示室

和大生3人のグループ洋画展。

参観者 約500人

○ 水墨画展

2/19～2/20 於 小展示室

酒井大山氏の水墨画展。

参観者 約400人

○ 第2回 県下高等学校教員書道展

3/2～3/6 於 一般展示室

県下高等学校書道担当教員による書道展。

参観者 約800人

○ 卯グループ油絵展

3/18～3/23 於 一般展示室

小野教治氏門下生の油絵具象洋画展。

参観者 約800人

○ 第4回 和歌山県いけばな協会展

3/29～4/3 於 全館

県下各流派を統合したいけばな展。

参観者 約3,000人

7 近代美術館友の会活動

講 座

本館では昭和40年10月に美術館友の会をつくり、各種の講座を設けて活発な活動を続けている。

会員は約800名で五講座を開設しており月1回の講座を開催することを原則としている。

本年度の事業概要は下表のとおりである。

	美術鑑賞講座	日本画実技講座	洋画実技講座	洋画実技講座	写真実技講座	写真実技講座	陶芸実技講座	陶芸実技講座
4月	4/23 竹久夢二展によせて 参加者 26名	4/25 写生画の基本 参加者 31名	4/18 安楽川の桃畑(風景写生) 参加者 25名	4/25 裸婦デッサン 参加者 20名	4/11 月例コンテストとDPE実技 講習 参加者 10名		4/18 手捻りと板づくりによる花 器のいろいろ 参加者23名	5/1 絵付、焼上 23名
5月	5/21 きのくに文化財、宝物展列 品解説 32名	5/23 花鳥画の基本1 32名	5/23 新緑の和歌山公園風景写生 82名	5/29 裸婦デッサン 25名	5/23 月例コンテストと初歩の DPE 13名	5/9 全日写連春の撮影会参加 7名	5/30 手捻りと板づくりによる皿 と菓子鉢 27名	
6月	6/26・27 倉敷、備前窯元見学バスツ アー 90名	6/20 花鳥画の基本2 34名	6/13 有功ヶ丘学園の壁画作成 21名	6/27 裸婦デッサン 26名	6/13 初歩のDPEと月例コン テスト 11名		6/26・27 美術鑑賞講座と同じ	6/12 絵付、焼上 27名
7月	7/23 芸術家の生きかたを考える ① 23名	7/11 花鳥画の基本3 35名	7/11 溪流のある夏景色写生 32名	7/25 裸婦デッサン 28名	7/18 初歩のDPEと月例コンテ スト 11名		7/11 楽焼による茶碗と花器 30名	7/24 絵付、焼上 30名
8月	8/21 芸術家の生きかたを考える ② 17名	8/22 花鳥画の基本4 29名	8/29 真夏の市街地風景写生 20名	8/22 裸婦デッサン 27名	8/15 初歩のDPEと月例コンテ スト 8名		8/22 やきものの歴史と製作の技 法(講義) 30名	
9月	9/17 芸術家の生きかたを考える ③ 24名	9/12 花鳥画の基本5 36名	9/19 紀伊風土の丘風景写生 37名	9/26 裸婦デッサン(立姿) 17名	9/12 初歩のDPEと月例コンテ スト 10名	9/26 室内ヌードモデルの撮り方 36名	9/19 楽焼による角壺その他 46名	
10月	10/31 ポルドー美術館名作展 藤田美術館特別展鑑賞 80名	10/17 花鳥画の基本6 30名	10/17 柿のある村里風景写生 22名	10/31 裸婦デッサン(座姿) 25名	10/17 月例コンテスト 12名			

	美術鑑賞講座	日本画実技講座	洋画実技講座	洋画実技講座	写真実技講座	写真実技講座	陶芸実技講座	陶芸実技講座
11月	11/28 文芸評論家「山本健吉氏」 の講演会を聞く 10名	11/14 花鳥画の基本(1) 29名	11/14 晩秋の秋葉山風景写生 27名	11/28 裸婦デッサン 参加者 24名	11/14 月例コンテスト 10名		11/13 投げ入れ花器その他 30名	
12月	12/19 芸術家の生きかたを考える 8名	12/19 花鳥画の基本(2) 31名	12/19 着物姿の人物 31名	12/26 裸婦デッサン 27名	12/19 月例コンテスト 15名			12/19 絵付、焼上 30名
1月	1/21 昭和47年を迎えて 17名	1/23 花鳥画の基本(3) 28名	1/23 コスチュームの女性 47名	1/30 裸婦デッサン 30名	1/23 月例コンテスト 13名		1/23 習作展出品作品その他 33名	2/5 絵付、焼上 25名
2月	2/6 「ゴヤ展」鑑賞バスツアー 157名	2/20 花鳥画の基本(4) 28名	2/20 コスチュームの女性 35名	2/27 婦人デッサン 30名	2/20 月例コンテスト 13名	2/11 三輪明神およびそうめん製 造撮影 18名	2/20 楽焼その他 30名	3/4 絵付、焼上 28名
3月	3/12 原勝四郎先生を語る 50名	3/12 花鳥画の基本(5) 16名	3/19 甘露寺の桃風景写生 37名	3/26 裸婦デッサン 27名	3/5 カラー引伸実技講習会 7名	3/26 最終月例コンテスト並に s46年度賞授与式 13名	3/26 自由作品(楽焼による初歩 の陶芸) 30名	4/8 絵付、焼上 23名
講師	和高伸二先生 前川 照先生	古村徹三先生 寺口関山先生 青木虹興先生	齊田武夫先生 山東好雄先生 若林昌峰先生 多田俊彦先生 浜田邦男先生	寺中靖直先生	亀 忠男先生 駒木根紅花先生 西川高三先生	木村太郎先生 五十嵐靖郎先生 大北光男先生	吉増達夫先生	吉増達夫先生

8 美術館だより

昭和40年10月美術館友の会の発足もあり、同年12月広報紙「美術館だより」を発行することになった。

爾来、毎月1回約1,700部を配布、紙齢75号を重ねた。

9 本年度購入、寄贈等作品

日 本 画

№	作 者 名	作 品 名	材質・形状	大 き さ (㎝)	制作年	備 考
1	渡 瀬 凌 雲	瀨 峡	紙本着色	30号額装	1972	寄 贈
2	野 村 清 六	く ど	〃	122.4㎝×92㎝		寄 贈

洋 画

№	作 者 名	作 品 名	材質・形状	大 き さ (㎝)	制作年	備 考
1	高 井 貞 二	金 と 銀	キャンバス油彩	188㎝×178.5㎝		寄 贈
2	高 井 貞 二	赤 い 糸	キャンバス油彩	194㎝×73㎝		寄 贈
3	高 井 貞 二	スリーサークル	キャンバス油彩	131.5㎝×176.5㎝		寄 贈
4	高 井 貞 二	作 品	キャンバス油彩	137㎝×132㎝		寄 贈

彫 刻

№	作 者 名	作 品 名	材質・形状	大 き さ (㎝)	制作年	備 考
1	建 畠 覚 造	「黒 潮」	プラスチック	第26回国体モニュメント原型 1/10		寄 贈
2	建 畠 大 夢	若き日の北村西望	ブロンズ	胸像 24/h㎝		寄 贈
3	建 畠 大 夢	若き日の北村西望	ブロンズ	全身 8/h㎝		寄 贈

版 画

№	作 者 名	作 品 名	材質・形状	大 き さ (㎝)	制作年	備 考
1	吉 田 政 次	「相対性絵画 №.5」	木 版	屏風二曲半双 155㎝×155㎝	1959	寄 贈
2	吉 田 政 次	「我が宇宙 №.1」	木 版	屏風二曲半双 210㎝×215㎝	1965	購 入

10 美術館関係諸団体等

県立近代美術館協議会

氏 名	住 所
明 楽 光 三 郎	海南市日方 582
川 瀬 浩 一	御坊市御坊 79
多 田 俊 彦	和歌山市山口字谷 356
桐 山 義 雄	和歌山市北新元金屋町 7
楠 見 勝 寛	和歌山市新在家 56
浜 田 邦 男	海南市藤白 169
杉 本 義 夫	新宮市船町 2～6～6
寺 口 関 山	和歌山市禰宜
玉 井 一 郎	和歌山市寺町 13
出 水 清 治	和歌山市府中 1182
寺 田 健 治	和歌山市新堀北ノ丁 3～40
尾 藤 昌 平	和歌山市新堀七軒町 5
室 谷 文 男	和歌山市園部有功ヶ丘団地 152の8
富 松 助 六	和歌山市北坂ノ上丁 1
協 村 正 太 郎	田辺市栄町 52

会 長 明 楽 光三郎

副 会 長 室 谷 文 男

県 美 術 家 協 会

名 誉 会 長 明 楽 光三郎 (写 真)
 会 長 多 田 俊 彦 (洋 画)
 副 会 長 寺 口 関 山 (日本画) 浜 田 邦 男 (洋 画)
 監 事 西 川 高 三 (写 真) 宮 井 健 平 (工 芸)
 山 本 興 石 (書 道)

常 任 理 事 (代は代表常任理事)

(洋 画) 代 齊 田 武 夫 児 嶋 義 一
 峠 原 敏 夫 山 口 信 郎
 (日 本 画) 代 山 東 光 風 清 水 達 三
 (彫 塑) 代 三 井 淳 治
 (工 芸) 代 今 井 千 尋
 (書 道) 代 島 海 碩 西 林 凡 石
 (写 真) 代 亀 忠 男 東 義 行
 (生 花) 代 戸 塚 三 雲 梶 原 梅 友 斉
 (現代造形) 代 小 野 教 治 出 村 悦 延

理 事

(洋 画) 榎 本 白 華 木 下 克 己
 佐 原 光 山 東 好 雄
 橋 喜久雄 中 村 善 種
 仁 科 実 浜 口 勇 一
 浜 田 龍 夫 益 山 英 吾
 宮 本 誼 一 宮 村 泰 彦
 山 本 秀 臣 若 林 昌 峰
 (日 本 画) 江 川 鈴 子 北 喜久子
 吉 村 徹 三 下 村 紫 皐
 前 田 松 太 郎
 (彫 塑) 大 森 浩 二 中 井 由 純
 (工 芸) 寒 川 栖 豊 橋 爪 義 雄
 遠 藤 帰 一
 (書 道) 天 石 東 村 井 上 木 州

大 岡 皓 崖 栖 原 真 琴
 谷 口 雄 山 津 村 枕 石
 森 皎 如
 (写 真) 五十嵐 靖 郎 大 北 光 男
 川 崎 尚 木 村 太 郎
 串 秀 男 小 林 種 次
 駒 木 根 紅 花 島 村 安 彦
 杉 本 静 雄 藤 戸 輝 一
 (生 花) 河 内 春 甫 内 条 久 紫
 西 村 晴 雲 林 俊 甫
 久 岡 雲 外 広 畠 鋤 和
 山 口 昭 甫 高 木 閑 堂
 (現代造形) 江 上 清 岡 田 嘉 弘

〔名誉会員〕

宮 下 橋 堂 (書道)
 寺 中 靖 直 (洋画)

県 立 近 代 美 術 館 友 の 会

会 長 玉 井 一 郎
 副 会 長 杉 本 義 夫 多 屋 平 夫
 玉 置 勇
 監 事 明 楽 治 部 輔 中 村 広 男
 常 任 理 事 渡 辺 光 男
 理 事

岩 橋 清 (鑑 賞) 大 橋 和 歌 子 (鑑 賞)
 大 坪 一 作 (洋 画) 川 添 定 信 (洋 画)
 榎 本 保 夫 (日本画) 山 本 衣 作 (日本画)
 南 由 次 郎 (写 真) 栗 栖 慎 (写 真)
 柏 井 良 夫 (陶 芸) 客 殿 賢 (陶 芸)

評 議 員

和 田 伝 太 郎 (賛 助 会 員)	鈴 木 善 次 郎 (賛 助 会 員)
中 谷 幸 (鑑 賞)	矢 倉 道 子 (鑑 賞)
平 田 和 子 (鑑 賞)	水 田 景 子 (鑑 賞)
大 坪 史 子 (鑑 賞)	島 村 昭 子 (鑑 賞)
岡 二 美 子 (鑑 賞)	本 多 花 子 (鑑 賞)
井 谷 静 夫 (洋 画)	桐 本 廉 平 (洋 画)
西 田 修 (洋 画)	直 川 辰 之 助 (洋 画)
遠 山 泰 宏 (洋 画)	下 草 義 次 (洋 画)
小 川 信 英 (洋 画)	南 一 郎 (洋 画)
千 賀 永 次 郎 (日 本 画)	東 山 勇 (日 本 画)
峠 光 子 (日 本 画)	山 本 泰 次 郎 (日 本 画)
野 井 清 子 (日 本 画)	松 本 健 男 (写 真)
橋 川 一 造 (写 真)	辻 昌 三 (写 真)
榎 原 生 典 (写 真)	岡 康 次 (写 真)
跡 部 勇 (陶 芸)	寺 中 節 子 (陶 芸)
三 輪 富 子 (陶 芸)	船 橋 静 (陶 芸)
山 田 原 理 (陶 芸)	栗 栖 安 一 (賛 助 会 員)
前 田 算 子 (賛 助 会 員)	長 谷 六 兵 衛 (賛 助 会 員)
西 本 正 治 (賛 助 会 員)	新 林 信 雄 (賛 助 会 員)

技 師 松 下 勝 行

(事 業 課)

課 長	三 輪 茂
主 査	南 川 諄 一
学 芸 員	酒 井 哲 朗
嘱 託	和 高 伸 二 (非 常 勤)

県 立 近 代 美 術 館 職 員

館 長	渡 辺 光 男
次 長	笹 尾 猛
次 長	高 巖

(庶 務 課)

課 長	吉 田 禎 之
主 事	辻 本 介 彦